

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第150号 令和5年1月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 竹中 祐二 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



目次

巻頭言『「ソーシャルキャピタル」と作業療法』 公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 丹羽 敦	・・・1
会長行動	・・・2
2022年度第4回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・3
2022年度第5回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・6
各部・委員会からのお知らせ	・・・9
Occupation : 北九州中央病院 藤原 優花	・・・12
リレーエッセイ 戸畑共立病院 嶋川 泰崇	・・・14
福岡県作業療法協会創立40周年記念式典の報告	・・・15
福岡県作業療法協会創立40周年記念講演のご報告	・・・17



巻頭言『「ソーシャルキャピタル」と作業療法』

公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 丹羽 敦

新年明けましておめでとうございます！ 本年も福岡県作業療法協会の活動にご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、「ソーシャルキャピタル」という言葉を聞いたことがある方も多いかと思ひます。

ソーシャルキャピタルとは「社会的な繋がりとそこから生まれる規範・信頼であり、効果的に協調行動へと導く社会組織の特徴」(Putnam, 1993)などと定義され、その主たる構成要素は、社会・地域また他者への「信頼」、お互い様という「互酬性」、社会的つながりの「ネットワーク」と言われております。ソーシャルキャピタルはまさに地域包括ケアの肝となると言えます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響は、「ウイズコロナ」と言われている中、在宅療養患者のフレイル予防、介護予防など、子供から高齢者までの障害児・者および家族・地域住民への社会的な孤立を防ぐための対策・支援がますます重要視されています。

そして、地域での生活期リハビリテーションは、ICFでいう「参加」、すなわち個人レベルのソーシャルキャピタル回復への支援が重要です。さらには、地域での健康格差を是正するために、作業療法士は何ができるのかといったことが命題といえます。

現在、作業療法士の実施している地域支援活動を生涯過程でみた時に、乳幼児期では市町村の健診事業における保護者からの発達相談や子どもの発育状況に適した生活支援、学童期では障害の重度・重複・多様化に応じた特別支援教育へのかかわり、成人期では住環境や就学・就労支援へのかかわり、老年期では健康寿命を延ばすための在宅生活支援(介護予防・通所リハ・訪問リハ等)といった多くの活動があげられます。このように作業療法士は対象者と教育機関、行政、事業所、コミュニティ等の「組織とのつながり」、また家族、近所の方々、ボランティア、多職種等の「人とのつながり」、このような横・縦のつながりを形成し、そして、子どもから高齢者まで、それぞれの生活の場で求められる応用的動作能力・社会的適応能力に焦点をあてた地域生活支援を行っております。

このように作業療法士の地域生活支援活動は、その人らしい生き方を支援する地域リハビリテーションの観点からも、ソーシャルキャピタルの概念は大切だということです。

当協会は他にも多くの課題を抱えており、それに対応していくことも勿論ですが、私はソーシャルキャピタルの概念を大切にした地域生活支援は、今作業療法士に求められる専門性であり、そして作業療法士の将来性に重要なポイントとなると思っております。

会員の皆様には、臨床家、起業家、教育者等あらゆる立場で、ソーシャルキャピタルの概念を大切にした作業療法実践およびその役割を担う作業療法士教育にこれからも頑張っていたいただければ幸いです。

今年も皆様にとって、公私ともに充実した1年となりますことを願っております。

会長行動（令和4年10月1日～12月31日）

- | | | |
|-----|----|---|
| 10. | 1 | 福岡県作業療法協会40周年記念式典および講演会
場所：福岡国際会議場 |
| 10. | 2 | 2022年度健康21世紀福岡県大会
場所：西日本総合展示場 新館
ワンヘルスフェスティバル2022
場所：九州芸文館 |
| 10. | 3 | 第4回理事会（Web） |
| 10. | 7 | 福岡福岡県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会
世話人会（Web） |
| 10. | 13 | 47委員会運営会議（Web） |
| 10. | 16 | 大分県作業療法協会創立40周年記念講演および式典（Web） |
| 10. | 23 | NPOSTワンヘルス研修バスツアー
場所：四王寺県民の森 こどもの国広場 |
| 10. | 31 | 九州MTDLP推進委員会（Web） |
| 11. | 5 | 令和4年度第1回リハビリテーション研修会
場所：九州大学医学部百年講堂
第3回臨床実習指導者講習会（Web） |
| 11. | 11 | FAVA（アジア獣医師会連合）大会 |
| -13 | | 場所：ヒルトン福岡シーホーク |
| 11. | 14 | 40周年記念式典実行委員会（Web） |
| 11. | 17 | 世界早産児デー写真展
場所：福岡県庁ロビー |
| 11. | 18 | 災害リハ関連研修会打ち合わせ（Web） |
| 11. | 22 | 令和4年度中間監査
場所：吉田秀樹公認会計士事務所 |
| 11. | 25 | 災害リハ関連研修会（Web） |
| 11. | 26 | 九州理学療法士学術大会 2022 in福岡
場所：北九州国際会議場 |
| 11. | 27 | 2022年度 災害支援研修会（JAOT）（Web） |
| 11. | 28 | 障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会2022」セミナー（Web）
三役会（Web） |
| 11. | 29 | 第2回リハビリテーション委員会
場所：JR博多シティ10F小会議室
47委員会運営会議（Web） |
| 12. | 5 | 第5回理事会（Web） |
| 12. | 6 | 福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会
場所：オリエンタルホテル 福岡博多ステーション |
| 12. | 8 | 福岡DWATチーム員研修（Web） |
| 12. | 9 | 九州士会長MTDLP研修（Web） |
| -10 | | |
| 12. | 10 | 第3回47都道府県委員会（Web） |
| 12. | 15 | 地域ケア会議アドバイザー研修会（Web） |
| 12. | 22 | 九州士会長会議（Web） |
| 12. | 26 | 【介護ロボットのニーズ・シーズマッチング支援事業】
排せつ検知センサーに関する企業面談（Web） |

2022年度第4回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 会議開催日：令和4年10月3日（月）19：00～21：00
II. 場 所：福岡県作業療法協会事務所
III. 理事総数：25名
IV. 参加理事数：24名
V. 参加者氏名：竹中祐二，瀨本孝弘，佐藤稔，丹羽敦，宮本香織，田中聡，松尾雅宜，福田裕樹，
 萩井剛士，黒木勝仁，許山勝弘，峯崎佳世子，長城晃一，轟木健市，都甲幹太，
 青山克実，玉野和男，永田敬生，長彰純，手嶋雄太，手嶋正弘，松本信雄，
 古賀昭彦，鐘ヶ江秀俊（以上，理事）．
 吉田秀樹，志井田太一（以上，監事）中川昇（以上，相談役）
 田邊慎一，平岡敏幸（以上，事務局）．（敬称略）
 欠席者氏名：深町晃次（以上，理事）．

VI. 議長，書記選出

瀨本孝弘理事が開会を宣言し，議長に定款第32条により竹中祐二代表理事が選出された．
 ついで，議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として鐘ヶ江秀俊氏，田邊慎一氏が
 選出された．

VII. 議事の経過の要領及びその結果

議長は，本日の理事会はWEB会議システムを利用し行う旨を述べ，出席者が一堂に会するのと
 同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認した．
 議長は上記のとおり定足数に足りる理事の参加が確認できたので本理事会は成立した旨を
 報告した．

審議事項

- 1) ワンヘルス宣言事業者登録について（竹中祐二代表理事） →承認
 ワンヘルス宣言事業者登録制度についての報告を行い，当協会も事業者登録を行いたいとの
 提案があった．
- 2) 令和5年度事業計画・予算案について（佐藤稔事務局長） →継続検討
 令和5年度事業計画・予算案について提案があった．予算内容等，調整することとなった．
- 3) 2023年度 福岡県作業療法協会主催研修会 参加費（受講料）有料化について（丹羽敦理事）
 →一部修正の上承認
 福岡県作業療法協会主催研修会 参加費（受講料）有料化について提案された．一律として
 有料化することとなった．非会員・学生・他職種の参加費用等も検討することとなった．
- 4) 次年度の啓発事業に関する動画作成について（永田敬生事業部担当理事） →承認
 40周年式典において啓発のための制作動画を作成，配信したが，そのコンテンツを利用し，
 次年度新しい啓発事業としての動画作成を行いたいとの提案があった．動画内容において
 実行委員で確認ができない場合は三役で確認することとなった．
 また，動画協力して頂く対象者においては講師として理事会での承認を頂くこととなった．
- 5) ジャーナル作業療法福岡に関わる査読者の承諾について（松本信雄学術部担当理事） →承認
 ジャーナル作業療法福岡の投稿論文においての査読者の更新承諾について提案された．
- 6) 災害リハビリテーションに関する三士会合同研修会 予算計上について
 （古賀昭彦災害対策室担当理事） →承認
 令和5年度災害リハビリテーション三士会合同研修会運営の予算計上について提案された．

- 7) 令和5年度予算 ホームページ 管理費の値上げについて（許山勝弘広報部担当理事） →承認
ホームページ管理費の値上げについての報告があり、広報部予算の計上について提案された。
- 8) 教育部主催 MTDLP教育研修会の講師選定について（青山克実教育部担当理事） →承認
MTDLP教育研修会（オンライン）について以下のように講師依頼することが提案された。
水島 眞由美氏（横浜リハビリテーション専門学校）
佐藤 純氏（介護老人保健施設 花水木）
- 9) 保健福祉部研修会の講師選定について（都甲幹太保健福祉部担当理事） →承認
保健福祉部研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
先成 聖氏（やまびこ医療福祉センター）
高橋 知義氏（株式会社LikeLab 保育所等訪問支援事業Switch）
金田 孝一氏（小池特別支援学校 教員）
- 10) 災害対策室主催研修会の講師選定について（古賀昭彦災害対策担当理事） →承認
災害対策室主催研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
佐藤 亮氏（医療法人社団木星会山鹿温泉リハビリテーション病院 理学療法士
熊本JRAT 事務局次長）
- 11) 筑後ブロック研修会の講師選定について（轟木健市筑後ブロック担当理事） →承認
筑後ブロック研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
久村 悠祐氏（聖マリア病院）
板井 幸太氏（福岡リハビリテーション専門学校）
越智 哲平氏（聖ルチア病院）
西島 和秀氏（聖ヨゼフ園）
茂木 有希子氏（株式会社ハート&アート）
- 12) 福岡ブロック研修会の講師選定について（黒木勝仁福岡ブロック担当理事） →承認
福岡ブロック研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
寺村 健三氏（和歌山県立医科大学附属病院）
- 13) 筑豊ブロック研修会の講師選定について（手嶋雄太筑豊ブロック担当理事） →承認
筑豊ブロック研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
山田 眞理子氏（大谷短期大学名誉教授／子どもと保育研究所ぶろほ所長 臨床心理士）
安藤 栄二氏（株式会社RINSHO代表）
- 14) 北九州ブロック研修会の講師選定について（玉野和男北九州ブロック担当理事） →承認
北九州ブロック研修会について以下のように講師を依頼することが提案された。
千代野 滝太氏（小波瀬病院 理学療法士）
樽本 洋平氏（北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター 理学療法士）
- 15) 正規会員の入会について（佐藤稔事務局長） →承認
令和4年7月16日から令和4年9月16日までの入会者26名の入会があった。
また、以下のようにF会員・F以外の会員比率において報告があった。
(9月22日現在) 総会員数3,288名
F会員以外（自宅会員含む）2,822名 85.8%
⇒自宅会員以外2,575名・自宅会員247名
F会員（自宅会員含む）466名 14.2%
⇒自宅会員以外366名・自宅会員100名

協議事項

- 16) 事例報告および検討会の聴講者（作業療法士学生参加）について
（黒木勝仁福岡ブロック担当理事） →継続検討
日本作業療法士協会現職者共通研修の一環として実施されている事例報告および検討会の聴講者において、作業療法士の実践報告を学ぶ機会を増やすこと、日本OT・県士会活動の卒後教育プログラムの一環として広報する為、作業療法士学生の参加について提案された。個人情報の取り扱いや参加費等について検討することとなった。

報告事項

- 17) 会員証のWEB発行の対応業者の検討、PDFの請求書・領収証についてのTKC会計ソフトのタイムスタンプ機能使用報告について（佐藤稔事務局長）
会員証のWEB発行の対応業者を現在、検討していること、PDFの請求書・領収証についてのTKC会計ソフトのタイムスタンプ機能使用（電子でのやり取り）が可能になったこと等、報告があった。
- 18) 教育部・各ブロック研修会予定の調整会議について（丹羽敦副会長）
令和5年度の教育部・各ブロック研修会予定の調整会議を実施したこと、研修会の一覧作成や今後の調整会議の継続について報告があった。
- 19) 40周年式典開催実施について（永田敬生事業部担当理事）
10月1日に開催した40周年式典についての内容等報告があった。

VIII. 次回開催日

令和4年度 第4回理事会

日時：令和4年12月5日（月）19：00～21：00

場所：福岡県作業療法協会事務所（※WEB会議での実施予定とする）

IX. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって理事会が終了した。



2022年度第4回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 会議開催日：令和4年12月5日（月）19：00～21：00
II. 場 所：福岡県作業療法協会事務所
III. 理事総数：25名
IV. 参加理事数：23名
V. 参加者氏名：竹中祐二，濱本孝弘，佐藤稔，丹羽敦，宮本香織，田中聡，松尾雅宜，深町晃次，
 榎井剛士，許山勝弘，峯崎佳世子，長城晃一，轟木健市，都甲幹太，青山克実，
 玉野和男，永田敬生，長彰純，手嶋雄太，手嶋正弘，松本信雄，古賀昭彦，
 鐘ヶ江秀俊（以上，理事）
 吉田秀樹，志井田太一（以上，監事）中川昇（以上，相談役）
 田邊慎一，平岡敏幸（以上，事務局）。（敬称略）
 欠席者氏名：福田裕樹，黒木勝仁（以上，理事）。

VI. 議長，書記選出

丹羽敦理事が開会を宣言し，議長に定款第32条により竹中祐二代表理事が選出された。
ついで，議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として鐘ヶ江秀俊氏，田邊慎一氏が選出された。

VII. 議事の経過の要領及びその結果

議長は，本日の理事会はWEB会議システムを利用し行う旨を述べ，出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認した。
議長は上記のとおり定足数に足りる理事の参加が確認できたので本理事会は成立した旨を報告した。

審議事項

- 1) 令和5年度事業計画・予算案について（佐藤稔事務局長） →承認
令和5年度事業計画・予算案について調整後の提案があった。
- 2) 精神保健福祉啓発交流事業の講師選定について（永田敬生事業部担当理事） →承認
精神保健福祉啓発交流事業（ハートメディア・みんなの集い）市民公開講座の以下のように講師を依頼することが提案された。
菅原 洋平氏（ベスリクリニック）
- 3) 教育部主催現職者共通研修の講師選定について（青山克実教育部担当理） →承認
教育部主催現職者共通研修について以下のように講師を依頼することが提案された。
松下 航氏（国際医療福祉大学）
白水 ももこ氏（那珂川市療育センター にじいろキッズ）
中村 泰等氏（香椎丘リハビリテーション病院）
- 4) 第27回福岡県作業療法学会における学会長承認について（松本信雄学術部担当理事） →承認
第27回福岡県作業療法学会の学会長の承認について以下のように依頼することが提案された。
須崎 優介氏（東筑病院）
- 5) 福祉用具相談支援システム広報ビデオについて（都甲幹太保健福祉部担当理事） →承認
福祉用具相談システムの紹介・普及のために，福祉用具システムの登録・利用方法などを紹介する広報動画（約3分）を研修会などの空き時間などに本動画の上映を行いたいとの提案があった。各担当者協力のもと対応していくとなった。また，協会ホームページでも広報を行うこととなった。

- 6) 福岡県の新規SIG認定申請での認定団体としての承認について（青山克実教育部担当理事）
→承認
福岡県の新規SIG認定申請があり、認定団体として承認について以下のように提案された。
申請団体：白十字病院・白十字地域医療研修会
代表者：福井 哲氏（白十字病院リハビリテーション科）
- 7) 北九州市長選挙へ出馬表明された『津森洋介氏』の協会推薦について（佐藤稔事務局長）
→承認
北九州市長選挙へ出馬表明された『津森洋介氏』の協会推薦について提案された。
- 8) 新規入会者の承認について（佐藤稔事務局長）
→承認
9月17日から11月17日までの新規入会者の承認について提案された。
また、会員数・F会員・F以外の会員の比率等について以下のように報告があった。
総会員数 3302名
F会員以外（自宅会員含む）2840名 86.0%
⇒自宅会員以外2591名・自宅会員249名
F会員（自宅会員含む）462名 14.0%
⇒自宅会員以外359名・自宅会員103名

協議事項

- 9) 定款の掲載および規約について等の情報公開について（竹中祐二代表理事）
→継続検討
定款の掲載および規約について等の情報公開、協会活動の普及啓発のための年次計画や各部署の役割や担当理事からの一言メッセージなどのHP掲載について提案があった。
規約の見直しや掲載の仕方等、担当部署にて継続検討することとなった。
- 10) 研修会等参加費について（竹中祐二代表理事）
→継続検討
非会員、学生、多職種の研修会参加費についての検討が提案された。会員のメリットの重視や会員普及目的等でも現在の形が妥当であることが話し合われた。研修会費用については教育部の参加費を基準として、規程等整理していくこととなった。
- 11) 50周年記念式典活動報告のための画像保存について（永田敬生事業部担当理事）
→承認
50周年記念式典活動のための画像保存、方法等について提案された。協会全体の活動を記録として残していくこととして、クラウド活用やYouTubeの利用等、整理していくこととなった。
- 12) 人権・同和問題の研修について（峯崎佳世子倫理委員会担当理事）
→承認
人権・同和問題の研修について現職者研修、各ブロックでの研修の中で動画配信を行いたいとの提案があった。次年度以降現職者研修・各ブロックでの研修を年1回程度として、研修日、受講人数の取りまとめを倫理委員会で行うこととなった。

報告事項

- 13) 医療指導課からの指摘や県庁訪問について（佐藤稔事務局長）
福岡県医療指導課からの令和3年度の決算における指摘や県庁訪問対応等、報告があった。
- 14) 40周年記念式典事業決算報告、上半期事業の監事監査報告について（鐘ヶ江秀俊財務理事）
40周年記念式典事業決算の報告、令和4年度の上半期事業の監事監査についての報告があった。
- 15) 情報漏洩に関するチラシ作成について（峯崎佳世子倫理委員会担当理事）
倫理に関する周知・啓発として情報漏洩に関するチラシ作成を実施したこと、配布することの報告があった。
- 16) 全国ふうせんバレーボール大会について（玉野和男北九州ブロック担当理事）
全国ふうせんバレーボール大会について、令和5年3月19日に参加チームを縮小、時間を短縮して実施予定との報告があった。

VIII. 次回開催日

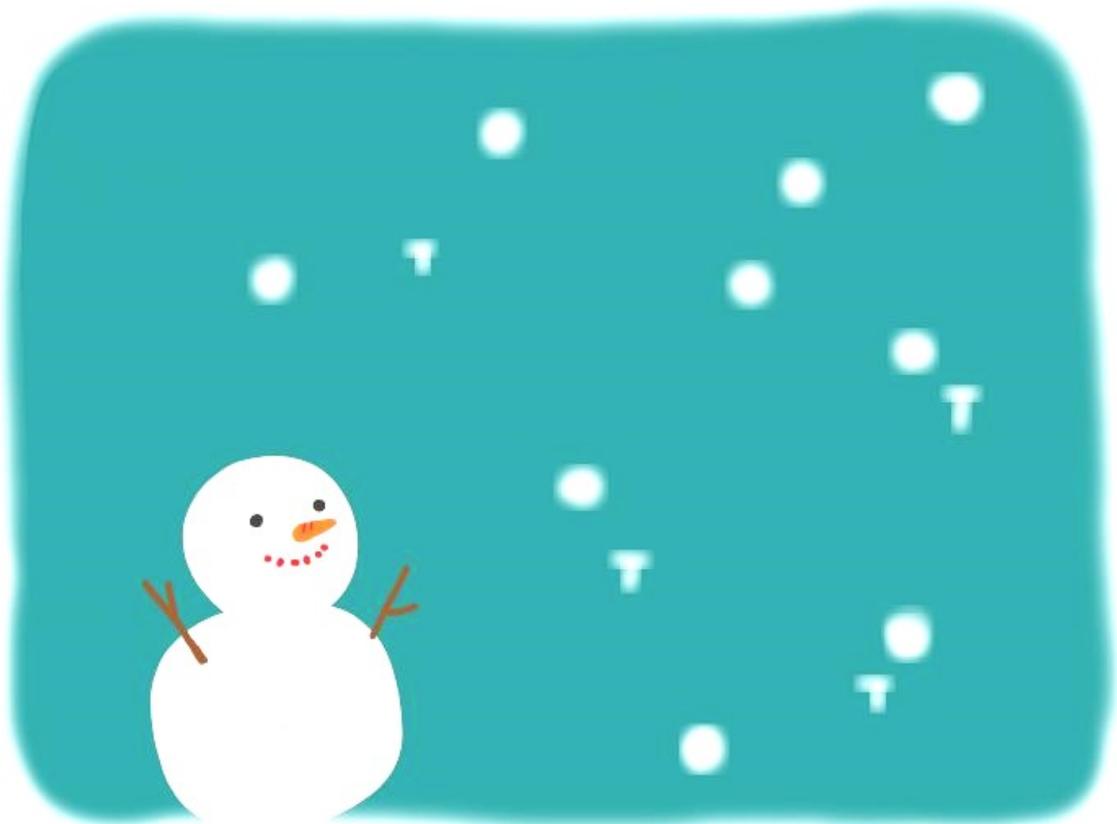
令和4年度 第6回理事会

日時：令和5年2月6日（月）19：00～21：00

場所：福岡県作業療法協会事務所（※WEB会議での実施予定とする）

IX. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって理事会が終了した。



各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 生涯教育関連

生涯教育手帳移行申請再受付期間

2022年12月1日～2023年2月28日（3か月）

日本作業療法士協会「事例報告登録制度」について

一般事例報告は、2022年11月から「新基準」による審査が開始されています。詳細は、日本作業療法士協会のHPを参照ください。

https://www.jaot.or.jp/academic_committee/jirei/

2. 各専門分野研修報告（すべてオンライン開催）

令和4年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会

第3回：令和4年11月5日（土）・6日（日）

参加者：86名

MTDLP事例検討会

日 時：令和4年10月13日

身体分野

日 時：令和4年11月20日（日）

テーマ：障がい領域におけるEBOTのための作業療法研究法～臨床の中の探究を求めて～

講 師：有久勝彦（関西福祉科学大学）

丁子雄希（新潟リハビリテーション大学）

友利幸之助（東京工科大学）

参加者：30名

発達分野

テーマ：CO-OP実践編

日 時：令和4年10月16日（日）

講 師：塩津裕康（中部大学）

参加者：30名

老年期分野（現職者選択研修【選択】）

日 時：令和4年12月11日（日）

老年期の基礎知識：

高内志保（北九州リハビリテーション学院）

老年期作業療法の治療的枠組み：

青山克実（九州栄養福祉大学）

地域生活を支援する：

安藤栄二（株式会社RINSHO）

老年期の作業療法実践 トピックス：

都甲幹太（介護老人保健施設あやめの里）

3. 令和4年度教育部主催関連研修の予定

（当面はオンラインにて開催予定です）

MTDLPに基づく作業療法参加型臨床実習のあり方

日 時：令和3年12月18日（日） 9:30～16:30

MTDLP関連研修予定

MTDLP基礎研修：令和5年1月22日（日）

MTDLP事例報告会：令和4年12月2日（金）、
令和5年2月16日（木）

令和4年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会

第4回（臨時）：令和5年1月21日（土）・22日（日）

現職者共通研修

日 時：令和5年1月21日（土）

各講座の定員80名

九州作業療法士会長会リーダー育成研修

日 時：令和5年2月22日（水）（調整中）

【学術部】

1. 第26回福岡県作業療法学会関連準備委員会
全体準備委員会：

10月19日（Web会議）：27名

11月 9日（Web会議）：28名

12月14日（Web会議）：31名

四役・局長会議

10月 5日（Web会議）：7名

11月16日（Web会議）：10名

企画局会議：

9月22日（Web会議）：3名

10月20日（Web会議）：4名

11月 7日（Web会議）：6名

12月 8日（Web会議）：8名

学術局会議：

10月19日（Web会議）：10名

10月26日（Web会議）：8名

11月 8日（Web会議）：14名

11月19日（Web会議）：11名

広報局会議：

10月20日（Web会議）：6名

11月17日（Web会議）：6名

12月15日（Web会議）：6名

運営局会議：

10月27日（Web会議）：7名

11月11日（Web会議）：5名

11月24日（Web会議）：8名

市民公開講座動画撮影：

11月24日（つなぐ企画）：8名

会議等検討内容

・市民公開講座の講師動画撮影

・参加賞の作成：A4クリアファイルに決定

・市民公開講座ポスター・チラシ作成作業

・優秀4演題と副賞の決定

・ライブ配信時の役割確認

・Peatix管理打ち合わせ

・次期ブロック担当への引き継ぎの開始 他

2. 第26回福岡県作業療法学会のご案内

日 時：令和5年2月4日（土）～26日（日）

テーマ：

～今こそ『かいほう』の意味を考える～

会 場：Web開催

参加登録期間：令和5年1月4日（水）-2月26日（日）

※Peatixから参加登録が可能です。

3. 第27回福岡県作業療法学会会長の承認

東筑病院 須崎優介氏（東筑病院）

理事会にて承認

4. 『作業療法・福岡』第21号

1) 投稿演題

投稿論文4演題中、査読完了は1演題。

2) 特集「作業療法と自動車運転」

1名寄稿済み

3) 学術誌発送スケジュール

令和5年1月下旬 校正

令和5年2月中旬 校了

令和5年3月中旬 発行・発送

【企画委員会】

1. 事業企画会議①

日 時：令和4年10月18日（木）

場 所：zoom

内 容：健康21フェスタの反省

事業企画会議②

日 時：令和4年11月19日（土）

場 所：ごえん黒崎

内 容：人材養成研修の企画

事業企画会議③

日 時：令和4年12月22日（木）

場 所：zoom

内 容：次年度活動の企画

2. 百万人の介護予防事業会議①

日 時：令和4年10月19日（水）

場 所：zoom

内 容：百万人の介護予防事業に関する
進捗状況確認と検討

百万人の介護予防事業会議②

日 時：令和4年11月18日（金）

場 所：zoom

内 容：百万人の介護予防事業に関する
進捗状況確認と検討

3. 百万人の介護予防に関する、北九州市

認知症介護予防センターとの会議

日 時：令和4年11月2日（水）

場 所：zoom

内 容：百万人の介護予防事業に関する
進捗状況確認と検討

【倫理委員会】

1. 事業企画会議

日 時：令和4年11月2日（水）10：00～

方 法：オンライン会議

出 席：3名

内 容：

1. 倫理に関する周知・啓発について

2. 人権・同和問題研修について

【広報部】

1. 事業企画会議

日 時：2022年10月24日（月）19時～20時

方 法：オンライン会議

内 容：1. 県協会サイトについて
2. LINE公式アカウントの活用について
3. 40周年記念事業について

日 時：2022年12月26日（月）19時～20時

方 法：オンライン会議

内 容：1. 県協会サイトについて
2. LINE公式アカウントの活用について
3. 40周年記念事業について

2. 40周年記念式典実行委員会

日 時：2022年11月14日（月）19時～21時

方 法：オンライン会議

3. 会報発行

第150号（2023年1月15日発行） 編集・発行

【福岡ブロック】

1. 令和4年度福岡ブロック事業企画会議

第4回令和4年10月5日（水）19～20時（WEB会議）

参加者：9名

第5回令和4年12月8日（木）19～20時（WEB会議）

参加者：10名

2. 令和4年度福岡ブロック学術部企画会議

第4回令和4年11月29日（火）19～20時（WEB会議）

参加者：9名

3. 令和4年度福岡ブロック研修会

第4回令和4年10月6日（木）19時～20時30分（WEB）

テーマ：リーダー像、他職種連携について

講 師：靱井剛士氏（らそうむ内科リハビリ
テーションクリニック）

参加者：40名

4. 令和4年度福岡県県民健康づくりセミナー

（福岡県医師会主催）

日 程：令和4年10月21日（金）

YouTube配信の為、事前録画対応

テーマ：自宅のできる上半身のストレッチや
腱鞘炎の予防対策

講 師：藤田曜生氏（九州大学病院リハビリ
テーション部）

【北九州ブロック】

<北九州ブロック>

ブロック企画会議開催

日 時：令和4年11月7日（月）19：00～

方 法：Zoomミーティング会議

健康21世紀福岡県大会

日 時：令和4年10月2日（日）10：00～17：00

会 場：西日本総合展示場

ブーステーマ：働き盛りの心とからだの健康を

はかる～作業療法士と考える生活習慣（睡眠・飲酒・余暇）～

参加者：100名強

＜小倉北・門司エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：令和4年11月8日(火)19:00～

方法：Zoomミーティング会議

＜小倉南・京築エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：令和4年10月3日(月)19:00～

方法：Zoomミーティング会議

第4回北九州ブロック研修会

日時：令和4年11月26日(土)19:00～21:00

方法：オンライン研修(Zoomミーティング)

テーマ：脳卒中片麻痺患者の歩行を見る
～OTにも知って欲しい装具療法～

講師：千代野滝太氏(小波瀬病院 PT)

参加者：77名

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：令和4年10月5日(水)19:00～

方法：Zoomミーティング会議

＜八幡東・戸畑・若松エリア＞

第3回北九州ブロック研修会

日時：令和4年10月28日(金)19:00～21:00

方法：オンライン研修(Zoomミーティング)

テーマ：脳卒中治療ガイドラインの基づく
リハビリテーションの進め方

講師：佐伯覚氏(産業医科大学医学部教授
診療科長)

参加者：88名

【福岡東ブロック】

1. 研修会報告

1) 2022年度第4回福岡東ブロック研修会

日時：令和5年1月19日(火)19時～21時
(受付18時30分～)

講師：国立長寿医療研究センター
リハビリテーション科部
認定作業療法士 神谷正樹氏

テーマ：「排尿自立支援における作業療法士の
役割」～多職種連携～

参加者：209名参加予定

2. 広報

LINE 友達819 有効ターゲット605
フォロー427

【筑豊ブロック】

1. 研修会

1) 第4回筑豊ブロック研修会(福祉・教育分野)

日時：令和4年11月11日 19:00～
オンライン開催にて

テーマ：明日から使える理論に基づく教育

実践方法

講師：奥野将太氏(麻生飯塚病院理学療法士)

参加者：50名

2) 第5回筑豊ブロック研修会(精神分野)

日時：令和4年11月25日 19:00～
オンライン開催にて

テーマ：高齢者を対象にしたレクリエーション
の効果と実践

講師：深町晃次氏(九州栄養福祉大学)

参加者：46名

2. 今後の予定

1) 研修会

① 第6回筑豊ブロック研修会(発達分野)

日時：令和4年12月17日 19:00～
オンライン開催にて

テーマ：

今を生きる子どもたちの電子映像メディアとの
向き合い方

～with コロナ, GIGAスクールをうけて～

講師：山田真理子氏(NPO法人子供とメディア
代表, 九州大谷短期大学名誉教授)

② 第2回筑豊ブロック研修会(地域分野)※延期分

日時：令和5年1月20日 19:00～
オンライン開催にて

テーマ：地域生活を支援する～作業療法を語り
合おう

講師：安藤栄二氏(株式会社RINSHO代表)

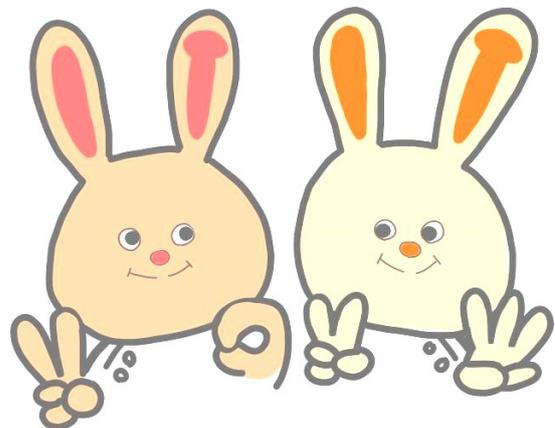
2) 事業企画会議

① 第5回事業企画会議

日時：令和4年12月7日 19:00～
オンライン開催にて

② 筑豊ブロック懇親会

日時：令和5年3月10日 19:00～
オンライン開催にて



Occupation

北九州中央病院

藤原 優花

こんにちは。北九州中央病院で作業療法士をしている藤原優花です。

私の働いている北九州中央病院は、モノレール香春口三萩野駅から直通している場所にあり、回復期リハビリテーション病棟、障害者施設等病棟、医療療養病棟からなっています。全病床は300床で、各病棟は60床ずつとなっています。

障害者施設等病棟は、パーキンソン病などを始めとした神経難病の方も入院可能な病棟となっており、長期的な入院をされている方が多くいらっしゃいます。また、医療療養病棟は内科的な疾患や医療入院、呼吸器疾患、廃用症候群など医療的な処置を必要とされる方が多く入院されており、患者様の状態に応じて退院支援や看取りを含めた長期療養を行う方が中心となっています。どちらの病棟でも、リハビリは患者様の状態に応じて継続した介入を行っています。

私の働く回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や圧迫骨折などの整形疾患の患者様が概ね同じ位の割合で入院されています。日々のリハビリに加え、病棟では患者様の離床機会や活動量の増大、精神賦活などの目的から、月に2回の病棟レクリエーションも実施しています。実施内容や離床患者様の選出を含めリハビリスタッフが中心となり、実施時は看護師や介護士などの病棟スタッフにも参加していただき、風船バレーや紙で作った魚釣り、ボーリングなどの運動の他、翌月のカレンダー作りなどを実施しています。また、昼食時間の離床/帰室時の移乗、デイコーナーでの食事場面の見守りもリハビリスタッフが病棟と協力して行っています。現在は感染症予防のため人数制限はありますが、昼食時に病棟のデイコーナーへ患者様の離床を行い、片麻痺の患者様やリクライニング車椅子の患者様などへ対するセッティングやポジショニング、食事介助などを行っています。実際の食事場面を通して観察・介助を行うことにより、自分の担当している患者様以外の状態も把握しやすくなるため、様々な患者様に対してリハビリの視点から設定を行うことができます。

その他、当院では訪問リハビリテーションも行っています。当院でリハビリを終えて退院された患者様の実際の生活場面で起こる困り事などに対し、環境調整や機能訓練を継続して行うことで退院後の生活をより過ごしやすく安定して続けていただくために行っています。

当院のリハビリテーション室は、作業療法室と理学療法室、言語聴覚室に分けられています。リハビリテーション室の外には、隣接した建物と共有になっているテラスがあります。そこでは季節の花や木を見ながら歩行練習を行ったり、患者様と一緒に野菜や花を育てたりなどもしています。

更に、当院では入院が長期となる方にも季節感を感じていただいたり、変化の少ない入院生活の中でも楽しみを感じていただくため、季節に応じた催しも開催しています。春は近くの公園へお花見へ行き、夏は短冊を書いたり夏祭りで射的やアイスクリーム、ヨーヨー釣りなどを楽しんで頂きます。秋は患者様が赤組と白組に分かれて運動会を行い、冬には患者様達がハンドベルを演奏するクリスマス会なども開催されます。そしてお正月になると、リハビリテーション室でおみくじや絵馬を書ける他、書き初めをされる患者様などもいらっしゃいます。現在はコロナなどの感染症を防ぐため、物品の消毒や人数制限、時間を分けての参加などといった対策をしながらとはなりますが、長期の入院となる患者様にも季節の行事を楽しんでいただくことが出来ています。

ごく簡単ではありますが、以上で北九州中央病院の紹介を終わります。



リレーエッセイ

戸畑共立病院

嶋川 泰崇

みなさま、初めまして。戸畑共立病院の嶋川泰崇と申します。

このリレーエッセイを回して頂いた木村誉志江さんは職場の先輩です。現在は法人内での異動により別の病院にいますが、元々は同じ回復期病院で一緒に働いていました。木村さんはとても頼れる先輩であり、入社したばかりであった私にOTのあるべき姿を教えてくださいました。プライベートでも仲良くさせて頂いており、木村さんの作るおでんは絶品です！

現在、私は北九州市の戸畑区にある社会医療法人共愛会戸畑共立病院に勤務しています。

当院は急性期の病院で病床数は218床あり、OTスタッフは7人在籍しています。主に脳血管疾患、整形、がん、内部疾患の患者様に介入しています。内科・外科病棟ではADL維持向上等体制加算を算定しており、私は今年度より内科病棟にて専従業務を務めています。専従業務を取り組む中で、疾患別リハビリテーションの対象外である患者様への介入やカンファレンス・回診等に参加するため、早期から他職種との連携を図りながら退院後の生活を見据えた支援が重要であると改めて感じました。

また、急性期では治療による安静が必要であることが多く、せん妄や認知機能低下をきたす患者様もいらっしゃいます。それに伴い臥床時間が長くなることで関節拘縮や褥瘡を始めとした二次的合併症やADL低下を予防するため、病棟でOTとしてADL場面に介入する方法を日々模索しています。

話は変わって私事ではありますが、今年の3月に娘が産まれました。慣れないことばかりで、大変なこともあります。屈託のない笑顔を見ることで毎日癒されています。子供の成長は早いものでその日々の記録を残すべく、家の片隅に眠っていた一眼レフカメラを引っ張り出しては記念写真を撮ることが楽しみの一つとなりました。ないものねだりでレンズの沼にハマってしまいそうです。そんな娘に負けじと日々成長できる父親に、OTになりたいと思います。



福岡県作業療法協会創立40周年記念式典のご報告

福岡県作業療法協会創立40周年記念式典および講演会が令和4年10月1日（土）に福岡国際会議場にて開催されました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、オンラインでの開催とさせていただきます。濱本孝弘副会長の開式の辞、竹中祐二会長の挨拶に続いて、来賓としてお招きした福岡県知事の服部誠太郎様（代読：福岡県保健医療介護部医療指導課長 橋本千恵様）、一般社団法人日本作業療法士協会会長の中村春基様（ビデオ配信）、公益社団法人福岡県理学療法士会会長の西浦健蔵様、一般社団法人福岡県言語聴覚士会会長の大内田博文様より祝辞をいただきました。



濱本 孝弘 副会長



竹中 祐二 会長



日本作業療法士協会 中村 春基 会長



保健医療介護部医療指導課長 橋本 千恵様



福岡県理学療法士会 西浦 健蔵 会長



福岡県言語聴覚士会 大内田 博文 会長

式典では感謝状の贈呈が行なわれ、当協会の発展に多大な貢献をされた5名の方が顕彰されました。最後に、丹羽敦副会長の閉会の挨拶が行われ、無事に40周年記念式典・記念講演を終えることができました。コロナ禍にもかかわらず会場まで足を運んでいただきましたご来賓の皆様、また、オンラインにてご参加いただきましたご来賓・会員の皆様に、40周年記念式典実行委員一同、深く感謝申し上げます。



吉田 秀樹 様（公認会計士）



吉田 清勝 様（司法書士）



志井田 太一 様（前会長）



座小田 孝安 様（前副会長）



中川 昇 様（前事務局長）



丹羽 敦 副会長

福岡県作業療法協会創立40周年記念講演のご報告

- 【日 時】 2022年10月1日（土） 14時～15時
【会 場】 福岡国際会議場メインホール（オンライン開催）
【テーマ】 「未知への挑戦」
【講 師】 杉村 英孝 氏（東京大会ボッチャ競技 優勝者）
 内藤 由美子 氏（ボッチャコーチ 作業療法士）
【司 会】 田中 聡 氏（福岡県作業療法協会 理事/株式会社リライブ）



東京大会のボッチャ競技優勝者 杉村英孝選手と杉村英孝選手のパーソナルスタッフで作業療法士の内藤由美子コーチをお招きしてオンラインにて記念講演が行われました。

杉村英孝選手からはボッチャの魅力についてお話をお伺いすることができました。ボッチャは「障がい者と健常者が共生社会を体験できるスポーツ」であり、「自己選択と自己決定ができるスポーツ」。それが実現できることが大きな自信となったそうです。ボッチャ選手には競技中の最終判断をすべて行うことが求められます。

内藤由美子コーチからはボッチャや杉村選手との出会い、コーチとして作業療法士として杉村選手とどのように歩んできたかについてお話をお伺いすることができました。ボッチャのルールや魅力についても詳しく教えていただきました。内藤コーチが気をつけていることは、「選手の上に立たないこと」「選手と並走すること」。コーチとして常に引っ張ることはせず、一緒に考えて選手の純粋な考えを聴くように心がけていたそうです。

杉村英孝選手はリハビリテーションを受けながら学校に通っていた経験をお持ちで、作業療法に対しては、日常生活に直結する支援を行い、自助具の工夫や考え方、視点を変えることでできることが増え、生活動作が楽になったとお話しされていました。作業療法のアプローチはパラスポーツに必要な運動機能や競技用具の工夫をこらしてパフォーマンスを向上させていくという必要不可欠な作業に大きくつながると感じられたそうです。ボッチャ競技への挑戦は「土台や前例のない未知の世界への挑戦」。 「様々な活動を通して、人と物を融合させ、そこに心をプラスする。それができる職種が作業療法士ではないでしょうか」。内藤由美子コーチの言葉がとても印象に残りました。

講演中も随所にお二人の素敵な笑顔が見られ、二人三脚で競技に向き合ってこられた姿を想像することができました。気づけばあっという間に講演時間がすぎてしまいました。遠いところ、福岡までお越しください、ありがとうございました。

（文責：広報担当理事 許山 勝弘）





公益社団法人 福岡県作業療法協会

LINE公式アカウント

福岡県作業療法協会主催研修会や会員用ニュースなど、
会員の皆様へ情報をいち早くお伝えします！

追加方法

・友達追加 →公式アカウントID

→@ykm7554i で検索

・もしくはLINE QRコードより登録ください



友達募集中！

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で
県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)
へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用
紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、
電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお
忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所まで
お問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年度、当協会は創立40周年を迎え、令和4年10月1日には記念式典および記念講演を無事に終えることができました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインでの開催となりましたが、福岡国際会議場にはご来賓の方もお越しくご祝辞を頂戴いたしました。また、オンラインにてご参加のご来賓の方や会員の皆様、また、一般市民の方にもご参加いただきました。感謝申し上げます。終わったばかりですが、創立50周年に向けてすでに準備が始まっております。10年後も作業療法や作業療法士が大いに必要とされる時代になることを目指し、またそれを実現するためにも会員の皆様一人一人のお力が必要です。今後とも当協会の活動へのご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

(広報部 許山)